

# アートと 優しさの かいふく 回復

医療と福祉におけるアートの役割

2015年 7月 25日(土)

13:00~16:00

iichiko 総合文化センター  
地下1F映像小ホール

対象者：医療・福祉の専門職、アート関係者、行政、一般市民

旧大阪厚生年金病院(現JCHO大阪病院)

参加無料  
先着 100名  
手話通訳あり



一般財団法人たんぼぼの家理事長  
播磨靖夫  
「生命の、美の、<sup>かいふく</sup>優しさの回復」



美術家、NPO 法人アーツプロジェクト理事長  
京都造形芸術大学こども芸術学科客員教授  
森口ゆたか  
「医療におけるアートの役割ーホスピタルアートの実践」

申込み先：大分大学福祉科学研究センター

申込み期限：7月21日(火)

E-mail: fukusi@oita-u.ac.jp  
FAX/TEL: 097-554-7450

参加者が定員に至った場合は、期限前に申込受付を締め切ります。  
定員に満たない場合は、当日参加も可能です。

※氏名、所属先、連絡先(メール、FAX、TELいずれか)を明記してください。

主催：大分大学福祉科学研究センター

後援：アートミーツケア学会、大分県、大分市、大分県医師会、大分県看護協会、大分県老人福祉施設協議会、大分県老人保健施設協会、大分合同新聞社

## 目的・内容

医療や福祉、教育、地域など人が生きることを支え、育む場が大きな変化の時代を迎えています。人が人を支えるケアの時代にあって、あらためて豊かに生きることはどういうことか、幸福とは何かが問われ始めています。

このようななか、医療や福祉の現場でさまざまなアート活動が実践されはじめています。病院における療養環境の質をあげるホスピタルアート、障害のある人の社会参加を促すアート活動、高齢者の生きる意欲につながるアート活動など、既存のアートのイメージを覆す新しいアートのかたちであり、そこから豊かなケアが生まれています。

本講演会では、先進的に医療や福祉などの現場でアート活動に取り組み実践者を迎え、みなさんとともにこれからのケアにおけるアートの役割や可能性について考えます。

## 講師紹介

### ● 播磨 靖夫

一般財団法人  
たんぼの家 理事長

障害のある人たちの生きる場づくりを市民運動として転換。アートと社会の新しい関係をつくる「ABLE ART MOVEMENT(可能性の芸術運動)」を提唱。アートとケア、ケアする人のケアなど、人の生きやすい社会づくりをめざし、さまざまなプロジェクトを実施。2009年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。

### ● 森口 ゆたか

美術家、NPO法人アーツプロジェクト理事長  
京都造形芸術大学子ども芸術学科客員教授

1986年より現在にいたるまで各地の画廊、美術館で作品を発表。2011年徳島県立近代美術館にて個展「森口ゆたか あなたの心に手をさしのべて」を開催。2004年にNPO法人アーツプロジェクトを設立。これまで関西を中心とする30カ所以上の病院で、ホスピタル・アートの企画、運営、実施に携わる。

## スケジュール

司会：大分大学教育福祉科学部 教授 田中修二

- 13:00 …… 主催者挨拶
- 13:05 …… 「<sup>かいふく</sup>生命の、美の、優しさの回復」  
講師：播磨 靖夫
- 13:55~14:10 …… 休憩
- 14:10 …… 「医療におけるアートの役割  
—ホスピタルアートの実践」  
講師：森口 ゆたか
- 15:00~15:15 …… 休憩
- 15:15 …… 質疑応答
- 16:00 …… 閉会



## 申し込み期限：7月21日(火)

参加者が定員に至った場合は、期限内に申込受付を締め切ります。定員に満たない場合は、当日参加も可能です。

※氏名、所属先、連絡先(メール、FAX、TELいずれか)を明記してください。

### ● FAX 申し込み記入欄 FAX:097-554-7450

所属		
氏名	(ふりがな)	
連絡先	電話番号	FAX
	メールアドレス	@